

### 資料3 民間委託の検討における論点



## 【民間委託の検討における論点】

### ○福岡空港の位置付けと必要な機能と整備について

福岡空港は国内線26路線、国際線18路線を有し、平成24年実績として年間1,444万人の国内航空旅客と、298万人の国際航空旅客に利用され、九州・西日本の拠点空港として位置付けられている。

福岡空港の滑走路増設、平行誘導路二重化の状況、また、近隣空港の存在など、様々な要因を踏まえつつ、福岡空港に求められる機能とそれに必要な整備について整理することが必要。

### ○福岡空港の抱える個別事情について

福岡空港には歴史的経緯を背景に、借地が存在し、また市街地空港として騒音、環境対策が必要である等の個別事情があり、民間委託を想定した場合、どのように対応するのか検討が必要。

### ○民間委託の課題と効果について

(民間委託の課題)

民間委託を想定した場合、運営がうまくいかなかった場合、大きく利用者利便が損なわれる可能性がある。これらのリスクについての国の対応について検討が必要。

(民間委託の効果)

福岡空港の民間委託を想定した場合、どのような効果が考えられるのか、長期的な視点で検討が必要。

この検討にあたっては、利用者の視点、地域振興の視点などから検討が必要。

### ○福岡空港の民間委託について

課題や効果等を踏まえて、福岡空港の民間委託が県民、利用者、また、地域発展にとって適切であるかどうか、検討することが必要。